

# 山行報告書

報告書作成

2008年6月17日

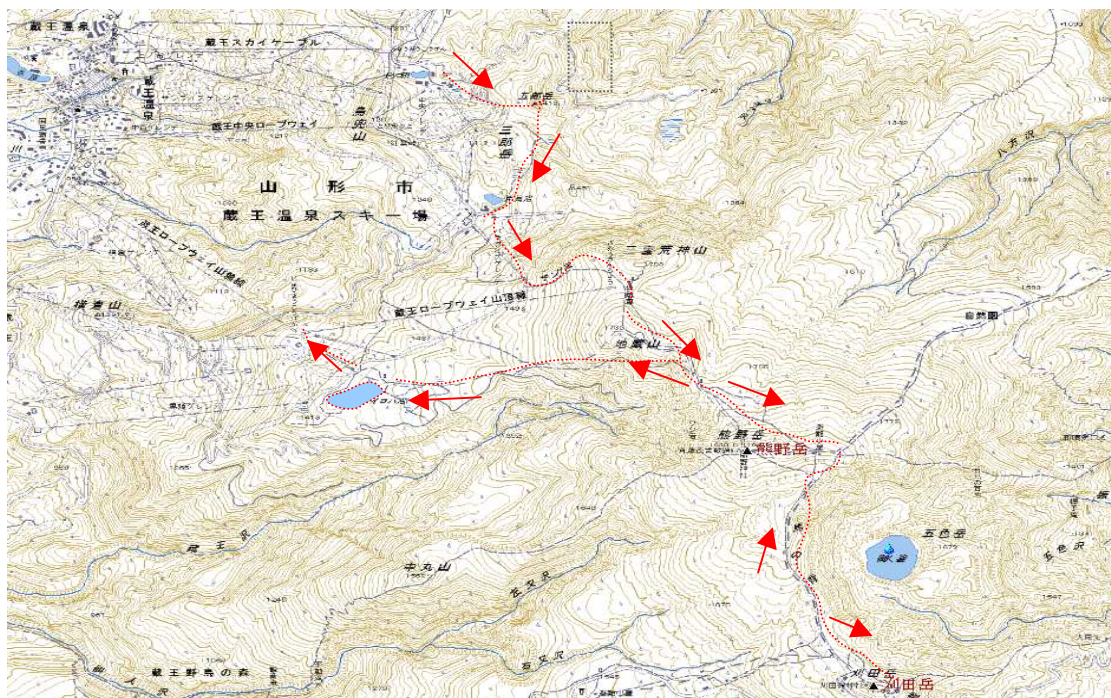
山名 [山域]	蔵王	目的と方法	初夏のお花とお釜めぐり
登山期間	2008年6月15日	山行形態	周回
参加人数	2人		

## 行動記録

13日(金)東京八重洲(23:00) = 14日(土)山形駅(5:20)(8:40) = 蔵王温泉(9:15) = 大露天風呂 = 上の台蔵王スカイケーブル(11:20) - (5分)ドッコ沼湖畔ロッジ = 不動滝等散策

**15日(日)** ロッジ(7:35) - 五郎岳(8:00) - 蔵王パラダイス(8:35) - ザンゲ坂-蔵王山頂駅(9:25) - 地藏岳(9:45) - ワサ小屋跡 - 熊野岳 - 馬の背 - 刈田岳(11:30) - 熊野岳(12:35)(13:00) - 和佐小屋跡 - イロ八沼(14:20) - 観松平(14:50) - 樹氷高原駅(15:10) =

## 概念図



## 日誌

天候は早朝より 快晴。昨日が嘘のような青空が広がっている。昨日の地震の余震も山形では全く無く登山決行する。標高1300mの高原。ドッコ沼湖畔の中央ゲレンデの脇の登山道を五郎岳1413mに向かう。ツマトリソウ・ミツバオーレン・ハクサンイチゲ・マイズルソウ・アズマギク・サンカヨウ登山道に咲き続く。片貝沼・メダマ沼周辺は 高原散策道になりハイカー向けの気持ちの良いブナ林である。パラダイスゲレンデを 真直ぐに南下し 通称 ザンゲ坂を登る。ここかしこに ハクサンチドリが咲き始めている。ロープウェイ山頂線の到着。温泉からの登山者は殆どこの山頂駅までロープウェイを利用して ここが登山の出発地点のようである。我々はここまでに 2時間を要した。地藏岳直下のお地藏様の大きさに圧倒される。

地藏岳1735mの山頂からは アップダウンもすくなく 岩場に イワカガミ・ミネズオウ・コメバツガザクラなど楽しみながら熊野岳に向かう登山者も 多からず 少なからずという具合。蔵王山岳インストラクターのYさんに出会う。同行して下さることになり 山形の山情報などを教えていただく。

蔵王の最高峰 熊野岳1841mから 馬の背に向かう。一番お釜のきれいに見える定位置を案内された。お釜の淵に残雪をいただくスポット。馬の背をお釜を楽しみながら歩く。刈田岳は 観光客が多く。神社での参拝後はそそくさと 引き返す。熊野岳で 昼食。ワサ小屋への下山道は 案内のお陰で満開ミネズオウと岩の絶景が続く。ワサ小屋で Y氏と別れる。

イロ八沼・観松平と 快適ハイキングスポットを ゆっくり楽しむ。ほどなく 樹氷高原駅へ。ここからロープウェイ(横倉ゲレンデ上)で蔵王温泉へ 下山。8時間は 疲労感もなくあっと言う間のようなようであった。

## 感想

梅雨時期の山行という事で 登山は中止を想定して 温泉・山寺・さくらんぼ狩など他の旅として計画した。隣県で地震発生で 先ずは半日は温泉で 状況把握に時間を使った。